

梅之木通信

【週末縄文人の会】

第49号 2024.10.28 発行

第2回うめのきウキウキフェスティバル

最初はなかなかスタッフが集まらず心配しましたが、20名以上の方にボランティアとして参加していただき、初めて参加したフェスティバルを盛り上げることができました。昨年は風が強く、天候がいまいちだったことも災いしたようですが、今年の人出は今年に比べるまでもなく多かったようで、われわれもお手伝いできて大いに楽しませていただきました。音楽あり。踊りあり。食べ物あり。まさに縄文環状集落での祭りを再現したフェスティバルを皆さんにも楽しんでいただけたのではないかと思います。

参加いただいたみなさん、お疲れさまでした！！

週末縄文人の会では、4つのワークショップをお手伝いさせていただきましたが、子供向けかと思っていたところが結構大人の方も参加していただいたりして、縄文人の暮らしに興味を持っている方が多いことも今回新たな発見になりました。次の世代につなげていく上でも、もっとっと広く多くの人たちとつながっていくためにも良い機会になったのではないかと思います。

❖ 石斧体験

子供たちの石斧体験は興味津々でみな目が輝いています。黒田さんにも参加してもらい、いつも通り伐採前の儀式でも神妙に手を合わせます。縄文の人々が自然と調和しながら、自然物に敬意を払って暮らしていたことにも関心を持ってもらえればと思いました。

重い石斧のはずですが、子ども達は一生懸命です。石斧に振り回されながらも目の真剣さが伝わります。何回も何回も挑戦してくる強者も現れます。



最期は大人も少しお手伝いして、一日がかりでなんとか1本のコナラを倒すことができました。



✿ 凧つくり

凧と言えば高く上げるものかと思っていたら、意外と小さく糸も短いものだったため、幼児向けにしようかと考えていましたが、意外や意外、小学校高学年の子供や大人まで夢中になっていました。



山々を背景に、なかなか絵になります



孫相手が、板についています



✿ 火起こし体験

千葉から参加の火起こし職人の指導の下、火起こし体験しますが子供の力ではなかなか火が熾せずお父さんの力量発揮の場になったでしょうか。



✿ 3号棟見学

3号棟の前ではハロウィーンかぼちゃが出迎えます。

後期高齢者3人組がパネルを使って建設の進行状況を説明します。

今週末の作業日には、新たな入会希望者が殺到してくる？と思いますが、単なる雑談に終始していたのかどうか？真価が判断できる場所かと思えます。



✿ フォルクローレ演奏（ピミエンタ）とベリーダンス（淑蘭）のコラボレーション

南アルプスを背景に梅之木の広場を自然の舞台にして、とても良い雰囲気のコラボになりました。

